

道路特定財源で6つの巨大橋？

日本共産党

伊勢湾架橋よりも暮らしに！

総事業費2兆円（伊勢湾口道路）のむだ遣いはやめよ！

道路特定財源を使い切るために、総額ありきで計画されてきたのが「道路中期計画」です。この中には、巨大横断道路が6つも含まれています。採算の全くとれない東京湾アクアラインの沖に、もう一つ東京湾横断道路をつくらうという計画や、「伊勢湾架橋」を含む伊勢湾口道路などがそれです。



（伊勢湾口道路建設促進期成同盟会ホームページより）

これがむだ遣いの仕組み＝国交省天下り先に随意契約！

財団法人「海洋架橋・橋梁調査会」役員

（2007年5月31日現在）

理事長	旧建設省道路局長	理事	(社) 日本土木工業協会会長 (大成建設会長)
専務理事	国土交通省東北地方整備局長	理事	(社) 日本橋梁建設協会会長 (川田工業取締役相談役)
常務理事	国土交通省大臣官房審議官	理事	(社) 日本橋梁建設協会理事
常務理事	旧本州四国連絡橋公団理事	理事	(社) 日本道路建設業協会副会長 (NIPPONコーポレーション社長)
理事	旧建設省土木研究所長	理事	(社) プレストレストンクート建設業協会会長 (ピーエス三菱社長)
理事	旧建設省大臣官房総括監察官	理事	(社) 日本鋼構造協会理事
理事	旧建設省技監	理事	(財) 高速道路調査会常務理事
理事	旧国土庁国土事務次官	理事	(社) 日本支那協会理事 (川口金属工業顧問)
理事	経済産業省大臣官房付		
理事	旧建設省土木研究所 構造橋梁部振動研究室研究員		
監事	国土交通省 国土技術政策総合研究所長		

財団法人「海洋架橋・橋梁調査会」ホームページより日本共産党の笠井亮議員が作成

国交省は、こうした計画の調査に77億円を使ったことを明らかにしました。財団法人「海洋架橋・橋梁調査会」は、この調査を随意契約で請け負っています。さらに問題なのは、役員半数以上が国交省などの天下りOBで、大手ゼネコンの大成建設会長をはじめ、建設業界幹部も名前を連ねていることです。中期道路計画そのものを廃止しなければ、ムダづかいの温床はなくなりません。

特定財源・暫定税率の復活ゆるすな！ 中期計画の撤廃を！

道路特定財源の暫定税率が期限切れとなり、4月1日からガソリンなどが値下がりしました。しかし自民・公明与党は、今月中にも法案を通して、再び税率を上げようとしています。日本共産党は、特定財源・暫定税率の復活を許さず、ガソリン税を道路関係以外にも使えるよう一般財源化するために全力をあげています。